

＜シンポジウム (4)-14-4＞今後の医療を支えるために  
～女性医師のキャリアを持続させるためには？～

## 男女平等なキャリアアップのシステム，企業での先端的取り組み

成島 由美<sup>1)</sup>

(臨床神経 2013;53:1363)

企業において，持続的な発展には多様な人材の活躍の推進が強く求められています。

その中で，今後より一層期待されることが女性の活躍と成果に対する高い期待です。

しかし，その一方で，これから先の働く姿に不安や葛藤を抱え，さらには知識や経験の浅いままに管理職に抜擢される女性も少なくありません。

そこで，将来を期待されるすべての働く女性に，ライフステージの乗り越え方や，これからのキャリアビジョン，モチベーションの維持と高め方，ステップアップする上で必要な資質とは何か，また仕事をしていく中での様々な問題（意識や偏見，家庭との両立）について，どのように対応し乗り切るか，自身の経験を踏まえながら，企業経営と女性としての立場の両方の観点から語らせていただきます。

また，女性の働く環境や社内の意識が変わらない企業が未だ多くある中，企業戦略の一つとして女性の活躍がなぜ取り上げられているのか，また女性の管理職が増えることにより，どのような変化が期待できるのかを考えると共にシビアな環境で頑張っている女性医師たちにエールを送りたいと思っています。

弊社ベネッセコーポレーション（旧 福武書店）が女性の

特徴を理解した上で女子力を信じて発展を続けてこられた根底には，法律制定より先に制度を検討して作ってきたことが挙げられます。創業者の想いを基に，いかにして女子力を引き出し女性活用の推進をおこなってきたのか，その結果としてどのぐらいの女性社員が活躍できているのか，弊社における男女別社員数の推移や育児休職制度といった人事制度および活用率など，弊社が考えるワークライフバランスの取り組みをご紹介します。「制度」はあっても利用できる雰囲気や実績がない企業が多い中，ベネッセコーポレーションでは男女ともに制度の活用が高いことが特徴でもあります。

さらに，女性らしさを生かしながらか働き続けるための「女子力」とは何か，どうすれば「女子力」が引き出されるのか，また社会が求めている「女子力」と意識の持ち方など，自身の考えを述べたいと思います。

最後に，ベネッセ次世代研究所の保護者調査から見える子育てに対する意識や教育方針の考え方のデータ結果を基に，今後の課題や育児や家庭と仕事の両立などで悩みを抱える女性医師へメッセージを送らせていただきます。

※本論文に関連し，開示すべきCOI状態にある企業，組織，団体はいずれも有りません。

### Abstract

### Advanced approach for gender-equal career enhancement

Yumi Narushima<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>Deputy President of Home Study Business Division, Benesse Corporation

(Clin Neurol 2013;53:1363)

<sup>1)</sup> 株式会社ベネッセコーポレーション [〒206-8686 東京都多摩市落合 1-34]  
(受付日：2013年6月1日)